

報道関係者各位  
プレスリリース

2014年4月14日  
株式会社フジ・メディア・ホールディングス  
Fujisankei Communications International, Inc.

FCI制作ドキュメンタリー

『ワシントンへの道～米国日系社会の先駆者ダニエル・イノウエ議員の軌跡～』

**2014年ニューヨーク・フェスティバルで銅賞を受賞！**

株式会社フジ・メディア・ホールディングス(本社:東京都港区 代表取締役社長:太田英昭 以下FMH)の100%子会社であるFujisankei Communications International, Inc. (本社:New York 代表取締役社長:若松誠 以下FCI)が制作したドキュメンタリー番組がテレビ番組等あらゆるメディア表現を対象とする国際コンテスト「ニューヨーク・フェスティバル」で銅賞を受賞しました。FCI制作の番組としては今回が初めての受賞となります。( <http://www.fujisankei.com/fci-news/danielaward.php> )



久下香織子(左) 荒井琢呂(右)



「2014ニューヨーク・フェスティバル」の授賞式が、現地時間4月8日にラスベガスで行われました。この「ニューヨーク・フェスティバル」で、FCIが制作したドキュメンタリースペシャル『ワシントンへの道～米国日系社会の先駆者ダニエル・イノウエ議員の軌跡～』(2013年5月FCI日本語放送、及びTV Japan: NHKコスモメディアによる北米での24時間有料・日本語放送にて放送。日本では放送されていません。)が、「バイオグラフィー/プロフィール部門」で銅賞を受賞しました。

「ニューヨーク・フェスティバル」は、1957年に発足、テレビ番組以外にも映画・ラジオ・広告・インターネットなどのあらゆるメディア表現を評価の対象としている世界最大規模の国際コンテスト。毎年、応募・審査で70カ国以上がこの「ニューヨーク・フェスティバル」に関わっています。テレビ番組は全世界50カ国から多数の作品のエントリーがあり、優秀作品に金賞・銀賞・銅賞などが授与されます。

( <http://www.newyorkfestivals.com> )

#### ●作品内容

「ワシントンへの道 ～米国日系社会の先駆者 ダニエル・イノウエ議員の軌跡～」

2年間に渡り FCI が取材を続けたダニエル・イノウエ。男として、日系人として、人間としての生き様があきらかにされる！



2012年12月に急逝した米国日系社会の巨星、ダニエル・イノウエ。およそ半世紀前に日系アメリカ人として初めてアメリカの国政の舞台で議員となり、以来、米議会の中心的な存在として活動を続けてきた上院議員で、アジア系アメリカ人として米国史上最高位となる大統領継承順位第3位までのぼりつめた政界の重鎮。しかし、その道のりは決して容易ではなかった…。

この番組では、当時、アメリカで差別的な扱いを受けていた日系移民の実情や、多くの日系人の運命を一変させた真珠湾攻撃、そしてその後、アメリカ人であるにも関わらず敵国民扱いをされた日系人の歴史を振り返りつつ、第2次世界大戦で「日系人も忠誠なアメリカ人である事を証明する」という使命を成し遂げるために、勇敢に戦いに挑み、自らの身体を犠牲にしても凄まじい功績を上げたイノウエ議員の激動の人生に迫ります。

一国民から敵国民に。敵国民から英雄に。そして、英雄から政治家に…。日米開戦後、敵国

民として扱われたダニエル・イノウエは、米軍史上最強と称される「日系人部隊」の兵士として英雄となり、復員後も、“日系人もほかの市民と同じく善良で忠誠なアメリカ国民だ”という信念をもとに、日系人にとって未開の世界であった政治の道に進み「アメリカに生きる日系人の新境地」を切り開き続ける。

米国日系社会の先駆者として激動の時代を生き抜いてきたイノウエ議員の軌跡を、全米規模の取材で得た貴重な証言と本人のインタビューで掘り下げます。

#### ナビゲーター

久下香織子 (FCI)

#### プロデューサー

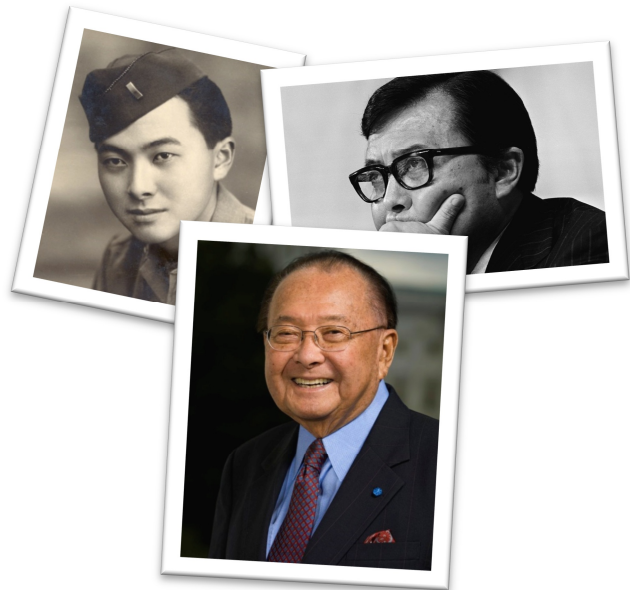
浦部靖己 (FCI)

#### エグゼクティブプロデューサー

金子公一 (元FCI / 現フジテレビジョン)

#### 構成・ディレクター

荒井琢呂 (FCI)



#### ●受賞コメント

【ナビゲーター 久下香織子】

故イノウエ上院議員の壮絶な人生は語り継いでいかなければならない歴史の一つである。イノウエ氏に初めてお目にかかったその日から私はそう考えるようになりました。しかしまさか私にそのドキュメンタリー制作に携わるチャンスが巡ってくるとは...今振り返ってみても夢のような気がします。二年近くの取材も終盤を迎えたときに突然訪れたイノウエ氏の訃報にはあまりのショックに声も出ませんでした。しかしこの時、イノウエ氏の人生を語り継いでいかなければいけないという責任の重さをあらためて感じました。一つだけ悔やまれるのはイノウエ氏ご自身にこのドキュメンタリーを見ていただき感想をうかがいたかったこと。身に余るこの賞は故イノウエ上院議員に捧げたいと思います。

【構成・ディレクター 荒井琢呂】

今回、このような賞を、FCIとして初めて受賞することができ、大変光栄です。あまり焦点が当てられないことがない日系アメリカ人の歴史の中でも、その象徴的な存在である故イノウエ議員の生涯を番組にするにあたって、番組制作期間中にイノウエ議員ご本人が急逝するなど様々な事態に直面しましたが、「伝えられなければいけない物語を伝えなければ」という思いで、取材を続けました。本当にたくさんの方々のご協力があった完成する事ができた作品で、特に日系アメリカ人の方々の惜しみないご協力と語られる深い言葉には、自分も成長させていただいたような気がします。本当にありがとうございました。

●「ワシントンへの道～米国日系社会の先駆者 ダニエル・イノウエ議員の軌跡～」再放送予定！！  
2014年度の年末年始に、FCI日本語放送にて「ワシントンへの道」の再放送を予定しております。  
放送日は後日ウェブサイト([www.fujisankei.com](http://www.fujisankei.com))にてお知らせ致します。

●FCI日本語放送について

1982年ニューヨークで放送開始以来、FCIでは北米にお住まいの日本人や日系人の皆様にニュースを中心に、日本の番組を毎日お届けしています。（例：「FCIモーニングEYE」など）

全米各主要都市へ発信

ニューヨーク地域(視聴可能世帯数:5,000,000世帯 / 邦人数:約8万人)、ロスアンゼルス(視聴可能世帯数:5,300,000世帯 / 邦人数:約10万人)、サンフランシスコ(視聴可能世帯数:1,400,000世帯 / 邦人数 約5万人)、ホノルル(視聴可能世帯数:400,000世帯 / 邦人数 約7万人)、ワシントンDC(邦人数 約1万人)などの多数邦人が住む主要都市でお楽しみいただけます。

\* 邦人数は在外登録をしていない人も含む推定のデータです

番組「FCI モーニング EYE」について

FCIの日本語放送として全米主要都市で、月曜日から金曜日に放送しているニュース・情報番組。フジテレビの「スーパーニュース」をはじめ「めざましテレビ」、「スピーク」など日本発のニュースを放送。さらに、アメリカをはじめ世界のニュースをわかりやすくお伝えする「ワールドEYE」、そしてアメリカ在住の方々向けに、著名人のインタビューからクッキング、エンタメ、トレンドまでの生活情報コーナー「トゥデイズEYE」など、生活に役立つ情報をお届けします。

ウェブサイトも充実

「FCIモーニングEYE」の一部を配信しています。[www.fujisankei.com](http://www.fujisankei.com)

●FCIが企画制作してきたその他のドキュメンタリー

第1弾「知られざる政治家ラルフ・カーとニッポン人～3人の米国日系人がたどった運命と強制収容所の歴史～」

第2弾「アメリカを守った男～日系人議員ノーマン・ミネタの80年史～」

FCIドキュメンタリースペシャルでは、Nitto Tire U.S.A. Inc.様からの協力を頂き、日系アメリカ人がアメリカ社会において成し遂げた偉業、功績を本人のインタビュー、周辺取材も交えたかたちで制作し、時が流れ、世代が変わっても、日系人が築いてきた歴史が忘れられないよう記録として伝えてまいりました。



本件に関する報道関係のお問い合わせ:

FCI代表電話: +1-212-753-8100

myra.katayama@fci-ny.com